

令和3年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
健康領域	人の健康	
基本目標	1	いつまでも元気でいられるまち
個別目標	1-1	健康寿命を延伸する
めざす成果	1-1-1	一人ひとりが健康づくりに取り組み元気で暮らしている
	1-1-2	心身の健康を維持・増進するための体制が整っている

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）				
めざす成果	施策の展開	取り組み内容	事業名	担当課
1-1-1 ①②③ 一人ひとりが健康づくりに取り組み元気で暮らしている	1-1-1-1 市民の間での健康づくり活動を活発にする	健康に対する意識、理解を高める	健康づくり普及啓発事業 健康相談・教育事業 大和市健康ポイント事業 歩く健康づくり事業	健康づくり推進課 健康づくり推進課 健康づくり推進課 健康づくり推進課
		食育推進事業 ※	食育推進事業	健康づくり推進課
		地域での健康づくり活動を行なう団体を支援する		
		健康づくり普及啓発事業(再掲) 食育推進事業(再掲)	健康づくり普及啓発事業 食育推進事業	健康づくり推進課 健康づくり推進課
		健康づくり活動を担う地域のリーダーを育成する		
	1-1-1-2 高齢の方の生き生きとした毎日を応援する	④ 介護予防等に関する活動の推進を図る	一般介護予防事業(健康づくり関連) 一般介護予防事業(認知症施策関連)	健康づくり推進課 人生100年推進課
		⑤ 生活に楽しみが生まれる機会を提供する	生きがい対応型デイサービス事業 高齢者入浴サービス事業 高齢者生きがい活動推進事業 高齢者福祉農園事業 はり・きゅう・マッサージ治療費助成事業 福寿手帳(カード)交付事業 老人福祉センター運営事業 老人クラブ育成支援事業 シルバー人材センター支援事業	健康づくり推進課 人生100年推進課 人生100年推進課 人生100年推進課 人生100年推進課 人生100年推進課 人生100年推進課 人生100年推進課 人生100年推進課
		敬老祝品等支給事業		人生100年推進課
	1-1-3 国民健康保険制度などに基づき市民の健康を増進する	出産育児一時金支給事業 保健衛生普及事業 葬祭費支給事業 特定保健指導事業(医療機関) 特定保健指導事業(市保健師等分)	保険年金課 保険年金課 保険年金課 医療健診課 健康づくり推進課	
		長寿高齢者に敬老の意を表す		

※連携の事例		
事務事業	関係する課	取り組み内容
食育推進事業	健康づくり推進課ほか 関係各課	大和市食育・歯及び口腔の健康づくり推進会議を設置し、複数の課等が連携する取り組みの調整等を行いながら、大和市食育推進計画に基づき、取り組みを進めています。

↓

担当課：健康づくり推進課
関係課：総合政策課、農政課、医療健診課、介護保険課、人生100年推進課、障がい福祉課、ほいく課、すくすく子育て課、国際・男女共同参画課、図書・学び交流課、病院総務課、保健給食課、指導室

所管部	健康福祉部					
【成果を計る主な指標】		前期基本計画期間（R1～R5年度）				
指標の名称		計画当初値	実績値（R1）	実績値（R2）	中間目標値（R3）	最終目標値（R5）
① 健康寿命（平均自立期間）と平均寿命の差	男性	1. 63歳	1. 71歳	1. 75歳	差が短くなるように取り組みます	差が短くなるように取り組みます
	女性	3. 57歳	3. 56歳	3. 60歳	差が短くなるように取り組みます	差が短くなるように取り組みます
② 自ら健康づくりに取り組んでいる市民の割合	62. 9%				68. 0%	70. 0%
③ 高齢の方が地域で生き生きと活動していると思う市民の割合	57. 1%				62. 0%	64. 0%
④ 介護予防セミナー受講者数	1, 112人	1, 397人	236人	1, 167人	1, 186人	
⑤ シルバー人材センター会員数	961人	1, 004人	945人	1, 041人	1, 081人	

【令和2年度までの主な取り組み内容及び今後の方針】		
施策の展開	主な取り組み内容	今後の方針
市民の間での健康づくり活動を活発にする	<ul style="list-style-type: none"> ■生活習慣病予防・重症化予防、フレイル予防を目的に健診結果から対象者を抽出し、保健師・管理栄養士による個別訪問等を実施しました。（訪問指導延べ件数：（R1年度）1,674件、（R2年度）238件） ■生活習慣病発症リスクの低い時期から健康づくりの習慣化を促すため、健康ポイント応募対象者を40歳以上から20歳以上に拡大しました（応募枚数：5,521枚） ■歩く健康づくりの普及啓発のためウォーキングサインを設置しました。（R1年度：91箇所、R2年度：48箇所） ■やまとウォーキングピックを開催し、歩くことによる健康づくりの普及定着を図りました。（R1年度参加者数：2972人、R2年度参加者数：1385人） ■食生活改善推進員養成講座を開催し、講座修了者が地域の食育アドバイザーとして活動することで、1,889名に食育推進活動を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ■新型コロナの感染拡大を踏まえ、個別訪問を電話相談へ変更して対応しています。今後も状況に応じた手法により保健指導を継続できるようにします。 ■感染症による影響がある中でも、市民が健康ポイント事業に参加しやすくなる仕組みを検討していきます。
高齢の方の生き生きとした毎日を応援する	<ul style="list-style-type: none"> ■介護予防普及啓発のため、セミナー等を開催しました。（R2年度開催回数：16回） ■自分自身の健康づくりや地域の介護予防活動の推進を図るため、市内9か所の地域包括支援センターで6日間の介護予防セミナー講座を実施しました。（R2年度参加者実数：73人） ■ふれあいネットワーク事業により、介護予防に資する活動を行う地域ボランティアの育成やミニサロンなどの活動支援を行いました。（R2年度ボランティア育成研修受講者数：110人） ■高齢者の社会参加および生きがいづくりを支援するための介護予防事業として、介護予防ポイント事業を行いました。（登録者数：R1年度218人、R2年度210人） ■地域リハビリテーション活動支援事業として、介護予防に関わる自立活動を行っている団体にリハビリテーション専門職による運動や助言等の支援を行いました。（実施件数：R1年度65件、R2年度8件） ■令和2年度は、新型コロナの影響により、認知症講演会やコグニバイク等を中止しました。また、コグニバイクセミナーについては、6回の実施（参加者数見込200人）を予定していましたが、定員を減らした上で4回実施しました。（参加者数47人） ■生きがい対応型デイサービス事業（ひまわりサロン）を実施し健康増進・介護予防を推進しました。（R2年度開催回数：259回） ■高齢の方の健康増進を図るために、はり・きゅう・マッサージ治療費助成券の交付（交付枚数：（R1年度）2,649枚、（R2年度）2,105枚）や、高齢者入浴サービスの利用証及び老人福祉センターの登録証となる福寿手帳（カード）の交付（交付者数：（R1年度）440人、（R2年度）198人）を実施しました。いずれも、新型コロナの影響により、令和2年度は前年度より交付者数が減少しています。 ■高齢の方の活動の場として、老人クラブ（シニアクラブ）、シルバー人材センターに補助金を交付し、運営を支援しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ■介護予防セミナーを開催し、引き続き介護予防の推進を図ります。 ■介護予防セミナーを開催し、引き続き介護予防の推進を図ります。 ■増加する65歳以上の方へ対応するため、ボランティアの育成や活動支援に引き続き取り組んでいきます。 ■感染症による影響を踏まえながら、引き続き、高齢者の社会参加および生きがいづくりに対する支援に取り組んでいきます。 ■感染症対策を引き続き周知し、病院と連携しながら、活動団体の支援に努めています。 ■新型コロナの状況を踏まえ、感染予防対策の徹底を図り、認知症講演会や、認知症予防に関するセミナーを開催することで、引き続き認知症施策の推進を図ってまいります。 ■生きがい対応型デイサービス事業を引き続き実施し、健康増進・介護予防の推進を図ります。 ■はり・きゅう・マッサージ治療費助成券や、福寿手帳（カード）については、事業の周知に努め、今後も継続して交付し、高齢の方の健康増進を図ってまいります。 ■高齢化が進む中、高齢の方の活動の場は、より一層必要になってくることから、今後も、老人クラブ（シニアクラブ）、シルバー人材センターを支援してまいります。
国民健康保険制度などに基づき市民の健康を増進する	<ul style="list-style-type: none"> ■40歳から74歳までの国民健康保険被保険者で、健康診査の結果から、メタボリックシンдро́мの該当及び予備群と判定された者に対して、医療機関への委託により、医師・保健師・管理栄養士が健診結果に基づいた保健指導を実施しました。 ■メタボリックシンдро́м該当者及び予備群を減らすため、特定保健指導の訪問及び面接を実施しました。（実施人数：（R1年度）287人、（R2年度）256人） 	<ul style="list-style-type: none"> ■協力医療機関の確保や対象者への利用勧奨や周知を通して、利用率の向上を図ります。 ■集団教室及び個別相談等を充実させ、利用人数の増加とメタボリックシンдро́м減少を目指します。

令和3年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
健康領域	人の健康	
基本目標	1	いつまでも元気でいられるまち
個別目標	1-1	健康寿命を延伸する
めざす成果	1-1-1	一人ひとりが健康づくりに取り組み元気で暮らしている
	1-1-2	心身の健康を維持・増進するための体制が整っている

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）				
めざす成果	施策の展開	取り組み内容	事業名	担当課
1-1-2 心身の健康を維持・増進するための体制が整っている	1-1-2-1 ③ 自らの健康状態を把握できる環境を整える	① ニーズにあった、利用しやすい健診、検診を提供する ② 疾病の早期発見・早期治療の支援を行う	女性の健康診査事業 健診事業 成人歯科健診事業 親子de健康診査事業 障害者歯科健診事業	医療健診課 医療健診課 医療健診課 医療健診課 障がい福祉課
	1-1-2-2 衛生的で感染症の少ない生活環境を確保する	多数の人が利用する施設などの良好な衛生状態を維持する 感染症の発生、まん延を防止する	専用水道等衛生対策事業 公衆便所管理運営事業 食品衛生管理支援事業 公衆衛生支援事業	生活環境保全課 施設課 医療健診課 医療健診課
	1-1-2-3 心の健康の保持を図る	こもりびと支援事業 ④ 自殺で亡くなる市民を減少させる	狂犬病予防事業 感染症予防事業 新型コロナウイルスワクチン接種事業 <small>新型コロナウイルスワクチン接種担当</small> こもりびと支援事業 自殺対策事業 ※	健康福祉総務課 健康福祉総務課

※連携の事例

事務事業	関係する課	取り組み内容
自殺対策事業	健康福祉総務課ほか 関係各課	「自殺をさせない」地域づくりを目指し、全庁的に横断的な視点で自殺対策に取り組むため、自殺対策府内連絡会を設置して、やまと自殺総合対策計画に関する事をはじめ、自殺対策に係る情報共有や調整等、自殺対策全般を推進しています。

↓

担当課：健康福祉総務課
 関係課：危機管理課、総合政策課、人財課、収納課、市民活動課、市民相談課、保険年金課、生活あんしん課、産業活性課、みどり公園課、おひとりさま政策課、医療健診課、健康づくり推進課、介護保険課、人生100年推進課、障がい福祉課、生活援護課、こども総務課、ほいく課、すくすく子育て課、こども・青少年課、国際・男女共同参画課、図書・学び交流課、スポーツ課、街づくり総務課、病院総務課、医事課、地域連携科、救急救命課、指令課、学校教育課、保険給食課、指導室、教育研究所、青少年相談室

所管部	健康福祉部				
【成果を計る主な指標】					
指標の名称	前期基本計画期間（R1～R5年度）				
	計画当初値	実績値（R1）	実績値（R2）	中間目標値（R3）	最終目標値（R5）
① 肺がん検診受診率	20.2%	24.3%	22.5%	26.2%	29.2%
② 特定健康診査の受診率	34.1%	32.6%	30.9%	39%	41%
③ 肺炎等による死亡率（人口10万人あたりの死者数）	103.4人	96.5人	98.8人	88.4人	82.4人
④ 自殺死亡率（人口10万人あたりの自殺者数）※	14.5人	14.7人	(17.1人)	12.8人	11.9人

※自殺死亡率について、計画当初値及び実績値（R1）は人口動態統計、実績値（R2）は警察庁の自殺統計に基づいています。

【令和2年度までの主な取り組み内容及び今後の方針】		
施策の展開	主な取り組み内容	今後の方針
自らの健康状態を把握できる環境を整える	<ul style="list-style-type: none"> ■市内医療機関に委託し、メタボリックシンドロームを判定する特定健康診査を実施しました。また、がん検診との受診券の一体化を図るなどして、受診を促しました。 ■乳がん、子宮がんの検診について、無料クーポン券を廃止して受診券に無料と記載する等の工夫を実施したことにより、無料対象の受診者数が増加しました。 ■女性のための健康診査、親子de健康診査の受診者が自動的に健康づくりに取り組むことができ、栄養相談等を通じて自身の健康に关心を持てるよう情報提供を実施しました。 ■障がい者（児）の口腔疾患を予防し、健康の維持増進につなげるため、毎月第2木曜日に保健福祉センターの歯科健診室で、大和緩瀬歯科医師会の歯科医師により歯科健診を実施しました。（R1年度：12回、R2年度：7回（新型コロナにより実施回数を縮小））また、同歯科医師会の協力により、障害サービス提供事業所等での歯科衛生教室を実施しました。（R1年度：6回、R2年度：0回（新型コロナにより実施見合せ）） 	<ul style="list-style-type: none"> ■引き続き、受診券の一体化を図るなどして、特定健康診査の認識を高めるとともに、受診勧奨を行い受診率の向上を図ります。 ■新型コロナウイルスワクチン予防接種集団接種会場で、検診のPRに努めます。 ■新規受診者の増加を目指して、健診の対象となる市民に広く事業周知を行います。
衛生的で感染症の少ない生活環境を確保する	<ul style="list-style-type: none"> ■県、厚木保健福祉事務所大和センターと連携し、新型コロナや新型インフルエンザ、蚊・ダニなどの昆虫を媒介とする感染症等の新たな感染症に対処しました。 ■感染症に関する正しい知識の普及や情報提供に努めるとともに、16歳以上の健康診断を受ける機会のない方を対象とした結核検診を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ■国、県、保健所、医療機関等の関係機関と連携を図り、新型コロナ等の感染拡大の防止に努めます。また、今後も関係機関との連携を図るとともに、適切に対応できるよう情報収集と事前の対策を強化し、備蓄とその更新を行う必要があります。 ■がん集団検診及び女性健康診査の実施に合わせ、集団方式での結核検診の機会を今後も提供します。
心の健康の保持を図る	<ul style="list-style-type: none"> ■ひきこもりに伴う悩みや、就労・社会活動・将来への不安などの相談に、専任のこもりびとコーディネーターが応じることで、適切な制度の案内、関係機関への取り次ぎなど、相談者に寄り添った支援を行いました。 ■自殺対策の普及啓発活動として、こころサポーター養成講座や自殺対策講演会等を実施しました。また、自殺防止相談電話を設置することで、自殺念慮が高い方からの相談を受け、府内関係課や関係機関と連携しながら支援を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ■相談員の研修への参加やこもりびと事例検討会の充実を図るとともに、個別事案に応じた府内でのネットワークの構築を目指します。さらに当事者や家族の社会的孤立の解消を目指し、こもりびと当事者の集いや家族の集いの定例化を目指します。 ■本市の地域特性を踏まえ、既存の事業を精査するとともに、自殺対策府内連絡会等を活用し、府内関係各課と横断的な連携を図りながら、より実効的な自殺対策事業を展開していきます。また、自殺対策を広く普及させるため、こころサポーター養成講座を積極的に開催します。